

第1回 新東名夢ロード懇談会の概要

1. 日時：平成19年7月13日(金) 10:00~12:00
2. 参加者：別紙のとおり
3. 主な審議内容

○新東名の計画概要、新東名を取り巻く社会動向、ITSの現状及び将来動向を踏まえて、新東名におけるITSを始めとする各種サービスの導入の方向性について、委員の皆さんからご意見をいただいた。主な内容は以下のとおり。

○社会のニーズを踏まえ、ITSを始めとする各種サービスを新東名で展開し、「世界をリードする高速道路システム」を構築する、とする基本的方向性について了承された。

○サービスを導入するにあたって、安全・安心の実現、環境への配慮、多様なライフスタイルへの対応、活力ある社会の実現、といった視点での検討の重要性が指摘された。

○新東名で展開するサービスとして、特に以下に期待が寄せられた。

- ・安全・安心の実現のための事故や災害発生時の車両への情報提供。
- ・環境負荷軽減に向けての電気自動車等の次世代自動車の走行環境の実現
- ・ドライバーに対しての快適な走行環境の実現
- ・活力ある社会に向けての新物流システムの実現

○今後、ドライバー、物流関係者など幅広い層の新東名に対する期待を調査したうえで、今年度中に、新東名における各種サービス導入基本戦略をまとめることとされた。

以上

NEXCO中日本 新東名夢ロード懇談会 委員名簿

座長	もりち 森地	しげる 茂	政策研究大学院大学 教授
委員	いけうち 池内	かつし 克史	東京大学生産技術研究所情報・エレクトロニクス系部門 先進モビリティ（ITS）連携研究センター 教授
	かみの 神野	のぶお 信郎	中部経済連合会 副会長
	かわしま 川嶋	ひろなお 弘尚	慶応義塾大学理工学部管理工学科 教授
	くせ 苦瀬	ひろひと 博仁	東京海洋大学流通情報工学科 教授
	ひらの 平野	じろう 次郎	学習院女子大学国際コミュニケーション学科 教授
	マリ・クリスティーヌ	異文化コミュニケーター 地域・都市・まちづくり研究所 所長（欠席）	
	もりかわ 森川	たかゆき 高行	名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻 教授
	よこやま 横山	まさこ 雅子	(株)マックス・ヴァルト研究所 代表取締役社長
	わたなべ 渡邊	ひろゆき 浩之	トヨタ自動車(株) 技監（代理出席）

(敬略称、五十音順)

弊社出席者

	やの 矢野	ひろのり 弘典	代表取締役会長CEO
	たかはし 高橋	ふみお 文雄	代表取締役社長COO
	よこた 横田	こうじ 耕治	常務執行役員 建設事業本部長
	よしかわ 吉川	りょういち 良一	常務執行役員 横浜支社長

新東名夢ロード懇談会の趣旨

【背景】

- 新東名高速道路は、今後のわが国の基幹的な道路ネットワークの一翼を担うものであり、特に物流の利用が多いものと予測されている。
- 一方、カーナビゲーションシステム・VICS、ETCといったITSの普及が進んでいる。ITSで想定されているサービス体系には、安全運転の支援、商用車の効率化、道路管理の効率化など、新東名への適用が有効なものもあると想定される。
- すなわち、新東名を単に現東名高速道路の補完機能に留めることなく、今後の社会、経済の動向を踏まえ、日本の最先端技術を活用した将来の道路交通システムを具現化する場として展開して行くことが重要である。

【趣旨】

- わが国が世界に誇るべき社会資本である新東名において、「世界をリードする高速道路システム」を構築するため、新東名に相応しい夢のある各種サービス及びその展開の方向性等について、有識者の方々にご議論いただく。